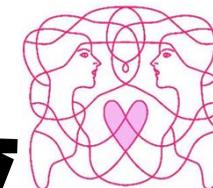




PE vs TAU

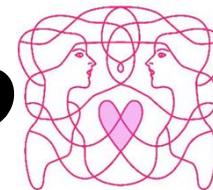
保険診療点数



	治療の時間設定と回数	必要診療室数	必要治療者数	再診1回毎の診療費	90分毎の診療人数	90分毎の診療費	社会復帰までかかる治療費
PE	1回90分のセッションを合計9-12回行う(週に1回あるいは2回)。	1	1	処方なし:470点 再診料70点+外来通院精神療法(再診30分以上)400点 処方あり:538点 再診料70点+外来通院精神療法(再診30分以上)400点+処方箋料68点	90分X1人	処方なし:470点(470点X1人) 処方あり:538点(538点X1人)	処方なし:5640点(470点X12回) 処方あり:6456点(538点X12回)
TAU	初診60分後、再診10~20分を月1~2回改善するまで行う。	1	1	処方なし:400点 再診料70点+外来通院精神療法(再診30分以下)330点 処方あり:468点 再診料70点+外来通院精神療法(再診30分以下)330点+処方箋料68点	10分X9人	処方なし:3600点(400点X9人) 処方あり:4212点(468点X9人)	???



PEとTAUの保険診療における 収支の差異



- **PE(処方なし)**
 - 90分: 4700円×1人×12回 56,400円
- **TAU(処方あり)**
 - 90分: 4680円×9人×12回 505,440円+α(検査費等)



解決方法？

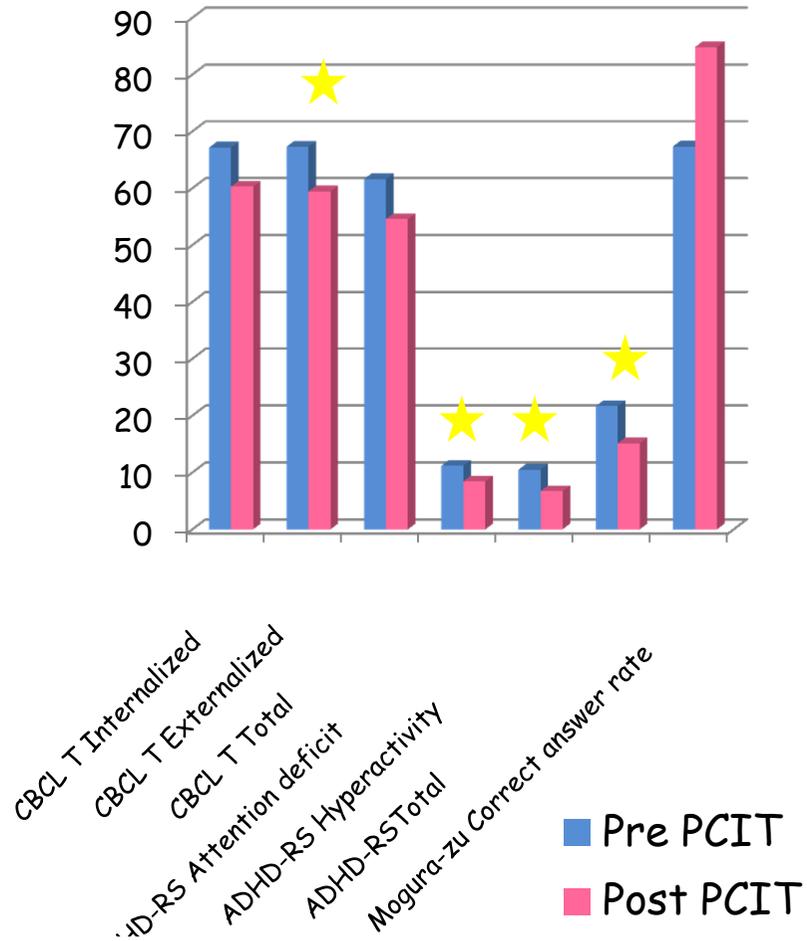
- **特別な心理療法としての保険点数の設置**
 - Cf. 高度先進医療
 - 4200点×12回で現状のTAUとほぼ同等の収支
- **自費診療**
 - 公費負担が必須

親子相互交流療法 (PCIT) (www.pcit.org)

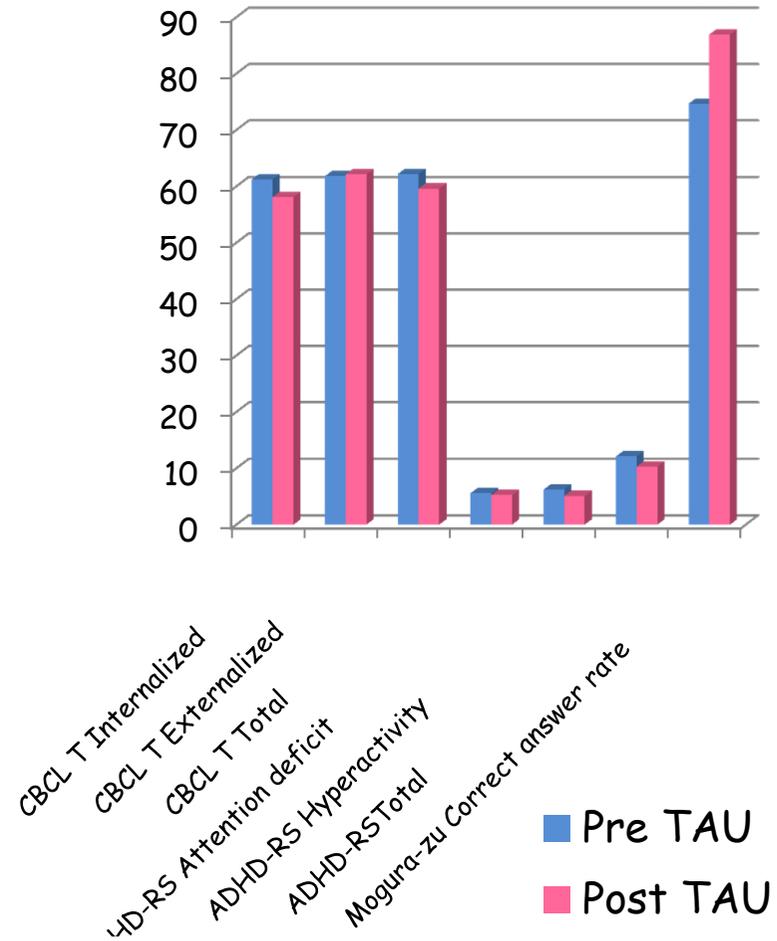


- ・ 1974年、行動障害のある2-7歳児とその親・養育者を対象としてフロリダ大学のシエラ・アイバーク博士により考案・研究。オペラント条件付けモデルを使う行動療法。徐々に被虐待児童とその養育者も対象となった。
- ・ 現在2-7(14)歳の児童と親、養育者、教師に使用される。境界域知能の養育者への使用も可能。
- ・ 遊戯療法を用いた養育者と子どもに対する2段階の実況指導(ライブコーチング)。マスタリング方式。毎週1回60~90分、通常15~20回で終了。
 - 関係強化:子ども指向相互交流(CDI):前半部分
 - 子どもの行動管理:親指向相互交流(PDI):後半部分

治療前後の子どもの症状の変化： PCIT 群 と通常診療群の比較

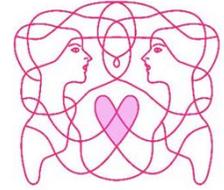


PCIT group (n=7)

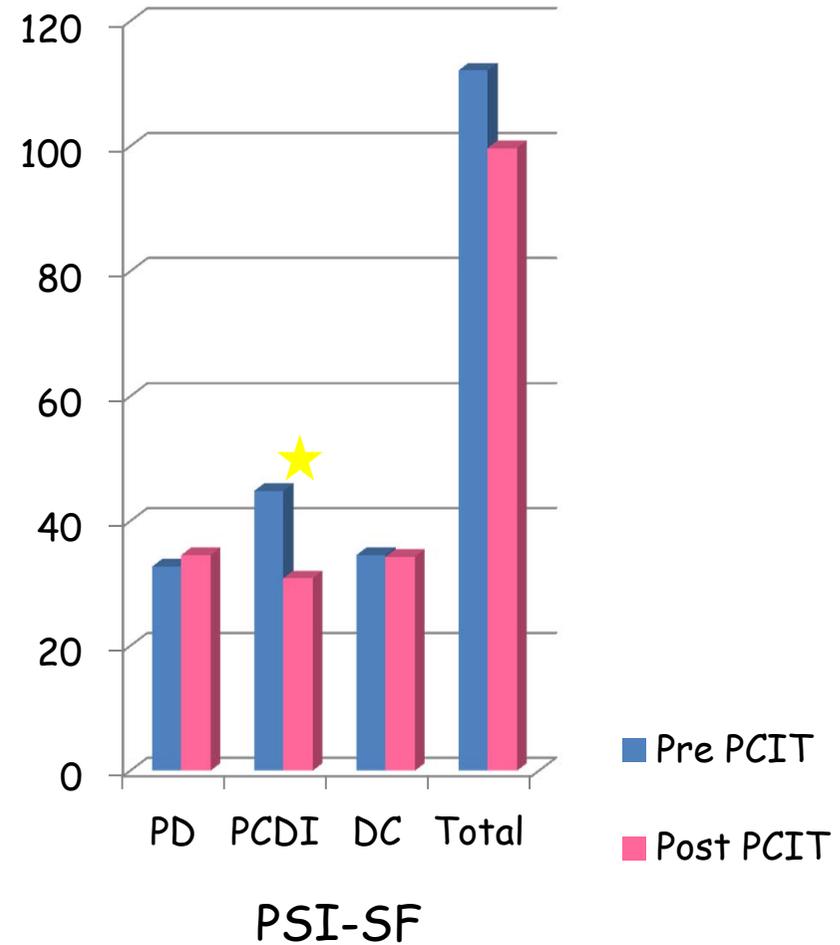
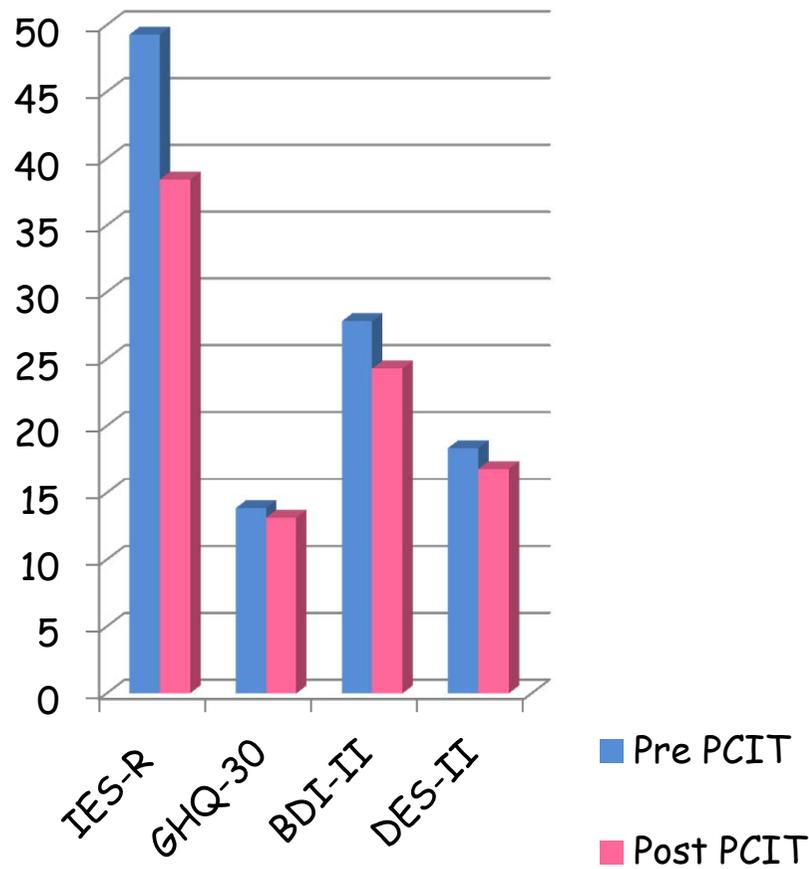


TAU group (n=35)

Wilcoxon signed rank test ★ P<0.05



PCIT 群におけるPCIT前後の 母親の精神症状と育児ストレスの変化



Wilcoxon signed rank test ★ $P < 0.05$